## ヒガンバナの話

1)　**なぜ？　彼岸花**　～　秋の彼岸の頃に咲くから

2)　ヒガンバナには葉がない？　～　花が枯れてから葉が出てくる
　彼岸近くなると、土手や畦に蕾をつけた茎が一気に伸びてくる。
成長のスピードは１日に 10cm にもなるときがある。
花の時期が終わると枯れていくが、単に枯れているのではなく栄養分を
球根に戻している。花と入れ替わるようにつるつるの葉が伸びてくる。
“　秋に花が咲いて枯れる、冬から春（10 月～4 月）つやのある葉が出て
球根（玉葱と同じ鱗茎）に栄養分を蓄える)”

3)　彼岸花は食べられるの？　～　毒があるので食べては駄目です
　彼岸花にはアルカロイドの一種「リコリン」という植物毒を含む
＜アルカロイド＞
　植物体に存在する、窒素を含む特殊な塩基性成分の総称。
　一般に、少量で動物に対して強い生理作用をもつ。
　ニコチン・モルヒネ・コカイン・アコニチン・キニーネなど。
食べると“嘔吐・下痢・呼吸麻痺などを起こす”大量に食べると死に至る。

4)　ヒガンバナが田んぼに多く植えられるのは？
～　①　飢饉の時の非常食　　②　野ネズミの害を防ぐため
①彼岸花には鱗茎（球根）には重さの 10 ㌫のデンプンがあるそうです。
　鱗茎の毒は水溶性の毒。飢饉の時はこれを掘り出して丁寧に毒抜きをして
　食べたようです。
②鱗茎（球根）に強い毒を持つために、野ネズミが畦に穴を掘る事がなく、
　水もれの原因を防ぐ。
　また、田んぼの水漏れの原因はモグラが畦を這い回って穴を開ける
　ことです。ヒガンバナがあるとその毒のためにミミズがいなくなる
　そうです。
　　食べるものがない所にはモグラも行かないようです。

5)　ヒガンバナは薬になる？
～　球根をすりおろして湿布薬として使う

田んぼだけでなく**お墓**に植えたのは…土葬した死体動物によって荒らされるのを防ぐため

9 月 20 日生まれの方の＜誕生花＞
ヒガンバナの花言葉　…「悲しい思い出」
「思うは貴女一人」
「又会う日を楽しみに」

# 9月　＜誕生日＞の“　花　”

| 日　付 | 誕　生　花 | 花　言　葉 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1日 | キキョウ | 変わらぬ愛 | |
| 2日 | マリーゴールド | 濃厚な愛情 | |
| 3日 | マーガレット | 恋占い | |
| 4日 | ナデシコ | 才　能 | |
| 5日 | ケイトウ | おしゃれな恋 | |
| 6日 | インパチェンス | 豊かさ | |
| 7日 | ススキ | 心が通じる | |
| 8日 | フヨウ | しとやかな恋心 | |
| 9日 | カンガルポー | 可愛い愛 | |
| 10日 | アスター | 恋の勝利 | |
| 11日 | スプレーマム | 私は愛する | |
| 12日 | クレマチス | 高　潔 | |
| 13日 | リンドウ | 正　義 | |
| 14日 | シュウメイギク | 忍　耐 | |
| 15日 | ダリア | 華　麗 | |
| 16日 | ハゲイトウ | おしゃれ | |
| 17日 | ニチニチソウ | 追　慕 | |
| 18日 | ハギ | 柔軟な精神 | |
| 19日 | サルビア | 燃ゆる思い | |
| 20日 | ヒガンバナ | 悲しい思い出 | |
| 21日 | カンナ | 情　熱 | |
| 22日 | コスモス | 少女の愛情 | |
| 23日 | バラ（黄） | 嫉　妬 | |
| 24日 | アザミ | 独　立 | |
| 25日 | クジャクソウ | 変　化 | |
| 26日 | トレニア | 控えめな美点 | |
| 27日 | ガーベラ | 神　秘 | |
| 28日 | フジバカマ | ためらい | |
| 29日 | リンゴ | 誘　惑 | |
| 30日 | ニゲラ | 不屈の精神 | |

# “ 中 秋 の 名 月 ”

中秋の名月は何時

毎年、満月は 12 から 13 回あるのになぜ「中秋の名月」だけ特別扱い？

「八月十五日」と書いて「なかあき」と読む苗字の方がおられるそうです。
「なかあき」すなわち「中秋」のことで昔から旧暦の８月 15 日の月を
「中秋の名月」 と呼んでいます。

１年には「春夏秋冬」の四季があります
旧暦では、３ケ月ごとに季節が変わり
春は“１月・２月・３月”
夏は“４月・５月・６月”
秋は“７月・８月”“９月”
冬“１０月・１１月・１２月”と分けられ、それぞれの季節に属する
月に＜初・中・晩＞の文字をつけて更に季節を細分化した。
例えば、旧暦４月は＜初夏＞

このように秋を当てはめると＜７月は初秋＞＜８月は中秋＞＜９月は晩秋＞
になり、旧暦では、月の半ばは大体満月になりますから「８月 15 日」を
十五夜の月といわれるように成ったようです。
昔から日本には、秋の澄んだ空に登る満月を鑑賞する風習がありますが
この時の月を「 **中秋の名月** 」と呼ぶように成ったようです。
秋は、収穫の時期でも有りますから、その都市の収穫物を月に備える風習が
各地に残っています。

＜ 芋 名 月 ＞ とも言う呼び名はこのことから生まれたようです。
芋名月…月見のお供えに“里芋”や“サツマイモ”を供えるからですね

また、月見団子をお供えするのも“芋”を供えた風習の変形ではないかと
考えられています。

**今年は、10 月 3 日＜土曜日＞**

**月見団子**･･･穀物の収穫に感謝して、米を粉にして作ったのが始まり
三宝に何個　備えるのか
① 15 夜だから ・・・ 15 個
② 満月の数 平年は 12 回・・・12 個
閏年は 13 回・・・13 個
地方によって違うようです

**ススキは　なぜ　飾るの**
稲穂に似ている為　　稲穂の代用品として使う